

## (13) 就実大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2023年 4月10日(月)	～	2023年 7月28日(金)
	後期	2023年 9月21日(木)	～	2024年 1月22日(月)
試験期間	前期	2023年 7月31日(月)	～	2023年 8月 4日(金)
	後期	2024年 1月23日(火)	～	2024年 1月29日(月)
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)



#### JR山陽本線・赤穂線

JR山陽本線・赤穂線「西川原駅」下車徒歩1分  
 「西川原駅」は通称「西川原・就実駅」です。

③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山市中区西川原 1-6-1 R 館1階
電話	086-271-8120

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

- ・ 履修申込期限（**申込受付期間が異なりますので留意してください**）

前期受付:2023年3月3日(金)～3月31日(金)

後期受付:2023年7月3日(月)～9月11日(月)

- ・ 履修手続

募集要項を確認し、各自の各所属大学に上記の履修申込期限内に申し込んでください。

- ・ 施設利用

1. 就実大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下の印刷物を配付します。(受入大学訪問時)
  - 学年暦
  - 就実キャンパスガイド
  - 単位互換履修生証（最終講義終了後、**教務課へ返却が必要です**）
  - アカウント通知書

- ・ 特記事項

休講・補講等の連絡は本学 WebClass を利用し確認してください。出席管理は単位互換履修生証にて IC カードリーダーを使用し管理します。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL\\_SyllabusKensaku.aspx](https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx)

対面授業				13001																
古典文学研究 1			瓦井 裕子																	
Study on Classic-literature 1																				
2~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>          平安時代の文学作品の絵画化をテーマに、さまざまな絵画資料や文献資料を取り上げ、正確に理解していく。それを通して文学と絵画との関係、文学作品を絵画化することの文化的意義を考える。また、古典文学作品を読む上での知識や技能を身につける。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>          平安時代の文学作品の絵画資料やそれに関連する文献資料を用いながら、文学作品とその享受について理解を深める。絵画だけではなく、絵画化された文学作品自体に対する読解も適宜行う。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業ガイダンス</td> <td>9. 『源氏物語』とその絵画(4)</td> </tr> <tr> <td>2. 平安時代の文学と絵画</td> <td>10. 『狭衣物語』とその絵画(1)</td> </tr> <tr> <td>3. 『伊勢物語』とその絵画(1)</td> <td>11. 『狭衣物語』とその絵画(2)</td> </tr> <tr> <td>4. 『伊勢物語』とその絵画(2)</td> <td>12. 『紫式部日記』とその絵画</td> </tr> <tr> <td>5. 『伊勢物語』とその絵画(3)</td> <td>13. 『駒競行幸絵巻』とその絵画</td> </tr> <tr> <td>6. 『源氏物語』とその絵画(1)</td> <td>14. 歌仙絵</td> </tr> <tr> <td>7. 『源氏物語』とその絵画(2)</td> <td>15. 全体のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 『源氏物語』とその絵画(3)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 授業ガイダンス	9. 『源氏物語』とその絵画(4)	2. 平安時代の文学と絵画	10. 『狭衣物語』とその絵画(1)	3. 『伊勢物語』とその絵画(1)	11. 『狭衣物語』とその絵画(2)	4. 『伊勢物語』とその絵画(2)	12. 『紫式部日記』とその絵画	5. 『伊勢物語』とその絵画(3)	13. 『駒競行幸絵巻』とその絵画	6. 『源氏物語』とその絵画(1)	14. 歌仙絵	7. 『源氏物語』とその絵画(2)	15. 全体のまとめ	8. 『源氏物語』とその絵画(3)	
1. 授業ガイダンス	9. 『源氏物語』とその絵画(4)																			
2. 平安時代の文学と絵画	10. 『狭衣物語』とその絵画(1)																			
3. 『伊勢物語』とその絵画(1)	11. 『狭衣物語』とその絵画(2)																			
4. 『伊勢物語』とその絵画(2)	12. 『紫式部日記』とその絵画																			
5. 『伊勢物語』とその絵画(3)	13. 『駒競行幸絵巻』とその絵画																			
6. 『源氏物語』とその絵画(1)	14. 歌仙絵																			
7. 『源氏物語』とその絵画(2)	15. 全体のまとめ																			
8. 『源氏物語』とその絵画(3)																				
<p><b>【テキスト】</b>          適宜、配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>          適宜、指示する。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          レポート 70%／授業態度 30%</p> <p>レポートは、「授業内容を理解しているか」「周辺事項や興味を持った事柄について掘り下げようとしているか」「古典文学や文学史に関する知識を持っているか」「上記のことを自分の言葉で論理的に記述できるか」を評価する。</p> <p>授業態度については、「授業準備をして授業に臨んでいるか」「授業を聞いて生じた疑問を掘り下げようとしているか」「授業内容を既に持っている知識と有機的に結びつけようとしているか」を評価する。</p>																				

対面授業				13002																
古典文学講義 2			川崎 剛志																	
Japanese Classical Literature 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 文学のテキストは多様な読みが可能である。そして、誤読や曲解を含めて、多様な読みに堪えてきた作品が古典となったともいえる。作品の読解と分析を通して、古典とは何かを考える。表現文化学科3年次の選択必修科目「講義」群の一であり、専門科目のなかでも最高水準が求められる。																				
<b>【授業内容】</b> 鎌倉時代に藤原定家の撰した『百人一首』を取り上げる。『百人一首』の成立と享受を概観し、名著である[テキスト]の解説にそって一首ずつ読み解くことにより、古典と呼ばれるものの正体を覗く。																				
<table border="0"> <tr> <td>1. 和歌とは？</td> <td>9. 喜撰法師</td> </tr> <tr> <td>2. 『百人一首』の成立と受容</td> <td>10. 在原業平</td> </tr> <tr> <td>3. 天智天皇</td> <td>11. 素性法師</td> </tr> <tr> <td>4. 持統天皇</td> <td>12. 大江千里</td> </tr> <tr> <td>5. 柿本人麻呂</td> <td>13. 中納言兼輔</td> </tr> <tr> <td>6. 山辺赤人</td> <td>14. 坂上是則</td> </tr> <tr> <td>7. 猿丸大夫</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 安倍仲磨</td> <td></td> </tr> </table>					1. 和歌とは？	9. 喜撰法師	2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平	3. 天智天皇	11. 素性法師	4. 持統天皇	12. 大江千里	5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔	6. 山辺赤人	14. 坂上是則	7. 猿丸大夫	15. まとめ	8. 安倍仲磨	
1. 和歌とは？	9. 喜撰法師																			
2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平																			
3. 天智天皇	11. 素性法師																			
4. 持統天皇	12. 大江千里																			
5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔																			
6. 山辺赤人	14. 坂上是則																			
7. 猿丸大夫	15. まとめ																			
8. 安倍仲磨																				
<b>【テキスト】</b> 島津忠夫、新版 百人一首(角川ソフィア文庫)、角川書店、978-4044040017、740 円																				
<b>【参考図書】</b> 井上宗雄ほか編、百人一首(新潮古典文学アルバム)																				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業に参加する姿勢 20%、予習の小テスト 60%(語句の下調べだけでなく、テキストの記述の内容理解の程度を厳密に評価する)、復習の小テスト 30%(重要な点を理解できているかどうかを中心に評価する)。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求める。																				

対面授業			13003
古典文学研究 3		竹内 洪介	
Japanese Classical Literature 3			
2～4年次	2単位	後期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  近世中期、井原西鶴の死を契機として、仮名草子から発展的に成立した浮世草子は漸次衰退してゆく。そしてその過程で、談義本・洒落本・黄表紙などの諸ジャンルが勃興・乱立し、そして読本も誕生することになる。しかし、そもそも江戸時代には明確なジャンル意識がなく、そもそも浮世草子も「仮名草子」や「風流読本」として認識されていたことがあった。では、なぜ今西鶴以後の作品は「浮世草子」と位置づけられ、談義本や洒落本とは区別されているのか。そもそもなにもゆえ談義本や洒落本、草双紙などのジャンルが現在比定されているのか。近松門左衛門の演劇作品など、周辺の文芸にも目配りすることで、既存の学問的枠組みにとらわれない新たな文学的視野を獲得することを目指す。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  近世小説史上における、井原西鶴の浮世草子から読本の草創期までの展開を辿る。浮世草子の展開を辿りつつ、談義本・洒落本・黄表紙・読本の特徴を時代的背景、演劇・俳諧などからの影響、文体・内容・題材などの諸要素から把握するとともに、なぜ、どのように浮世草子から他の文芸への転換がなされたのか、という問題を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス・文学ジャンルを疑う</li> <li>2. 近世における出版技術の発展(1)</li> <li>3. 近世における出版技術の発展(2)</li> <li>4. 仮名草子の終焉と井原西鶴の登場</li> <li>5. 『好色一代男』の革新性</li> <li>6. 『日本永代蔵』を読む: 仮名草子の教訓性を超えて</li> <li>7. 『武家義理物語』を読む: 西鶴の目指した表現</li> <li>8. 近松門左衛門の演劇: 『出世景清』と『曾根崎心中』を軸に</li> <li>9. 浮世草子の展開: 演劇および軍記との関係</li> <li>10. 談義本の登場と展開</li> <li>11. 草双紙の展開: 黄表紙の登場</li> <li>12. 洒落本の登場と展開</li> <li>13. 国学の展開と文学への影響</li> <li>14. 初期読本の登場と上田秋成の文学</li> <li>15. まとめとテスト</li> </ol>			
<p><b>【テキスト】</b>  プリントを配布する。</p>			
<p><b>【参考図書】</b>  授業内で適宜指示する。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  講義中盤に行う小テスト 40 点／まとめのテスト 60 点</p> <p>毎回義務付けるリアクションペーパー(Webclass を用い、成績評価には影響しない)は第 15 回に実施するまとめのテストの受験資格となる(講義を欠席した場合は担当教員に連絡の上、その時に行った講義内容について自主学習を行い、その学習に基づいてリアクションペーパーを作成・提出すること)。</p> <p>講義中盤に行う小テストは授業内容の理解度について評価するものである。採点ののちコメントを付してフィードバックする。</p> <p>まとめのテスト(60 点)は、授業内容の理解度を問う(配点 40 点)だけでなく、授業内容と自主学習で得た知識を利用して論じられるかを問う小論文問題(配点 20 点)により出題する。試験結果のフィードバックは、授業内および小論文の返却時に行う。毎回、1 時間以上の事前・事後学習を求める。</p>			

対面授業			13004																
近現代文学講義 3		坂 堅太																	
Study of Modern Japanese Literature 3																			
3~4年次	2単位	前期	1コマ																
<p><b>【授業の目的】</b>          差異をめぐる批評理論の概説と、具体的な作品分析を行う。これらの作業を通じ、文学作品を理論的に読む力を身につけることが目標である。</p>																			
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)</td> <td>9 樋口一葉「にごりえ」を読む②</td> </tr> <tr> <td>2 構造主義／脱構築について①</td> <td>10 ポストコロニアル批評について①</td> </tr> <tr> <td>3 構造主義／脱構築について②</td> <td>11 ポストコロニアル批評について②</td> </tr> <tr> <td>4 構造主義／脱構築について③</td> <td>12 ポストコロニアル批評について③</td> </tr> <tr> <td>5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①</td> <td>13 王昶雄「奔流」を読む①</td> </tr> <tr> <td>6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②</td> <td>14 王昶雄「奔流」を読む②</td> </tr> <tr> <td>7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 樋口一葉「にごりえ」を読む①</td> <td></td> </tr> </table>				1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)	9 樋口一葉「にごりえ」を読む②	2 構造主義／脱構築について①	10 ポストコロニアル批評について①	3 構造主義／脱構築について②	11 ポストコロニアル批評について②	4 構造主義／脱構築について③	12 ポストコロニアル批評について③	5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①	13 王昶雄「奔流」を読む①	6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②	14 王昶雄「奔流」を読む②	7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③	15 まとめ	8 樋口一葉「にごりえ」を読む①	
1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)	9 樋口一葉「にごりえ」を読む②																		
2 構造主義／脱構築について①	10 ポストコロニアル批評について①																		
3 構造主義／脱構築について②	11 ポストコロニアル批評について②																		
4 構造主義／脱構築について③	12 ポストコロニアル批評について③																		
5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①	13 王昶雄「奔流」を読む①																		
6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②	14 王昶雄「奔流」を読む②																		
7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③	15 まとめ																		
8 樋口一葉「にごりえ」を読む①																			
<p><b>【テキスト】</b> 講義内で扱うテキストはこちらで準備する。</p>																			
<p><b>【参考図書】</b> ジョナサン・カラー『文学理論』(荒木映子・富山太佳夫訳、岩波書店、2003年)          廣野由美子『批評理論入門』(中公新書、2005年)</p>																			
<p><b>【成績評価の方法】</b> 課題作品についての小レポート(25%×2回)、期末試験(50%)により総合的に判断する。</p>																			

対面授業				13005
異文化理解と交流 1A			ローレンス ダンテ	
Understanding and Interacting with Other Cultures				
3~4年次	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of minority cultures in the United States, and to improve their overall understanding of intercultural issues.				
<b>【授業内容】</b> Introduction/American Culture                      Native Americans African Americans                                      Native Americans African Americans                                      Native Americans African Americans                                      Mexican Americans African Americans                                      Mexican Americans African Americans                                      Mexican Americans African Americans                                      Mexican Americans Native Americans                                      Review/Essay Due				
<b>【テキスト】</b> 有賀夏紀、油井三郎(編)アメリカの歴史、テーマで読む多文化社会の夢と現実 ISBN 4-641-12162-1				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> Class participation 20%, quizzes 60%, essay 20%				

対面授業				13006																
異文化理解と交流1B			J. スコット																	
Understanding Other Cultures – Australia																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> Students will increase their understanding of Australia by focusing on 3 main themes: Aboriginal Australia, Multicultural Australia, including the Australia–Japan relationship, and Australian lifestyle and popular culture.																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 Course overview, introduction</td> <td style="width: 50%;">9 Lifestyle &amp; Popular Culture: Sport</td> </tr> <tr> <td>2 Aboriginal Australia: Before European Settlement</td> <td>10 Lifestyle &amp; Popular Culture: Protecting the Environment Part 1</td> </tr> <tr> <td>3 Aboriginal Australia: European Settlement and its Effects</td> <td>11 Lifestyle &amp; Popular Culture: Protecting the Environment Part 2</td> </tr> <tr> <td>4 Multicultural Australia: Early Immigration</td> <td>12 Aboriginal Australia: Movie 'Rabbit-Proof Fence'</td> </tr> <tr> <td>5 Multicultural Australia: Post-war Immigration</td> <td>13 Aboriginal Australia: The Stolen Generations</td> </tr> <tr> <td>6 Multicultural Australia: Australia and Japan</td> <td>14 Lifestyle &amp; Popular Culture: Music, Movies, Books, Art</td> </tr> <tr> <td>7 Multicultural Australia: Australia Now</td> <td>15 Lifestyle &amp; Popular Culture: What Makes Australia Australian? Review</td> </tr> <tr> <td>8 Lifestyle &amp; Popular Culture: Education</td> <td>16 Report deadline</td> </tr> </table>					1 Course overview, introduction	9 Lifestyle & Popular Culture: Sport	2 Aboriginal Australia: Before European Settlement	10 Lifestyle & Popular Culture: Protecting the Environment Part 1	3 Aboriginal Australia: European Settlement and its Effects	11 Lifestyle & Popular Culture: Protecting the Environment Part 2	4 Multicultural Australia: Early Immigration	12 Aboriginal Australia: Movie 'Rabbit-Proof Fence'	5 Multicultural Australia: Post-war Immigration	13 Aboriginal Australia: The Stolen Generations	6 Multicultural Australia: Australia and Japan	14 Lifestyle & Popular Culture: Music, Movies, Books, Art	7 Multicultural Australia: Australia Now	15 Lifestyle & Popular Culture: What Makes Australia Australian? Review	8 Lifestyle & Popular Culture: Education	16 Report deadline
1 Course overview, introduction	9 Lifestyle & Popular Culture: Sport																			
2 Aboriginal Australia: Before European Settlement	10 Lifestyle & Popular Culture: Protecting the Environment Part 1																			
3 Aboriginal Australia: European Settlement and its Effects	11 Lifestyle & Popular Culture: Protecting the Environment Part 2																			
4 Multicultural Australia: Early Immigration	12 Aboriginal Australia: Movie 'Rabbit-Proof Fence'																			
5 Multicultural Australia: Post-war Immigration	13 Aboriginal Australia: The Stolen Generations																			
6 Multicultural Australia: Australia and Japan	14 Lifestyle & Popular Culture: Music, Movies, Books, Art																			
7 Multicultural Australia: Australia Now	15 Lifestyle & Popular Culture: What Makes Australia Australian? Review																			
8 Lifestyle & Popular Culture: Education	16 Report deadline																			
<b>【テキスト】</b> No text – Class handouts will be supplied																				
<b>【参考図書】</b> もっと知りたいオーストラリア Tell Me About Australia <a href="http://australiamanabo.com/pdf/TellMeAboutAust-compressed.pdf">http://australiamanabo.com/pdf/TellMeAboutAust-compressed.pdf</a> Australia in Brief 日本語版 <a href="http://japan.embassy.gov.au/files/kyo/australia_in_brief_2014.pdf">http://japan.embassy.gov.au/files/kyo/australia_in_brief_2014.pdf</a> Australia in Brief 英語版 <a href="http://dfat.gov.au/about-us/publications/Documents/australia-in-brief.pdf">http://dfat.gov.au/about-us/publications/Documents/australia-in-brief.pdf</a>																				
<b>【成績評価の方法】</b> Weekly quizzes: 50%, Written reports: (25% + 25%) 50%																				



対面授業			13007
異文化理解と交流1C			和栗 了
Understanding Other Cultures -3C			
3～4年次	2単位	前期	1コマ
<b>【授業の目的】</b> 『聖書』とキリスト教についての基礎的知識を修得し、『聖書』がどのように読まれる可能性があるのかを考えることを目的とします。文学者の立場から『聖書』を論じます。 毎回取り扱うテーマと作品は変更の可能性があります。			
<b>【授業内容】</b> 1 導入・『聖書』とは何か？ 「創世記」の神と『フランケンシュタイン』 2 原罪説と「人間とは何か？」 3 「出エジプト記」と『神曲』 4 「列王記」のダヴィデと『非文字』 5 「エレミアのなげき」と『白鯨』 6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』 7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』 8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』 9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』 10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論 11 『無関心な人々』と中間者 12 『変身』という現代社会 13 「はやく人間になりたい」『妖怪人間ベム』 14 遠藤周作『沈黙』と「ヨブ記」 15 成績確認と学生との議論			
<b>【テキスト】</b> 自作プリントを使用します。			
<b>【参考図書】</b> 日本聖書協会編集、『聖書 新共同訳』（スタディ版）、日本聖書協会、2014年。			
<b>【成績評価の方法】</b> 毎回の小テスト（50パーセント）＋毎回の小レポート（20パーセント）＋毎回の宿題（30パーセント）。詳しくは第一回目の授業で説明します。			

対面授業				13008
異文化理解と交流2A			D.J.マカントニー	
Canadian Studies				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of Canada. We will study both the historical and modern country and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding.				
<b>【授業内容】</b> 1. Introduction 2. Geography 1 3. Geography 2 4. The People 5. History 6. Climate and weather 7. Culture 8. Mid-Term 9. Industry 10. Canadian Life 11. Symbolism 12. Travel 1 13. Travel 2 (Presentation Practice) 14. Presentations 15. Review				
<b>【テキスト】</b> No Textbook. All materials will be provided by teacher.				
<b>【参考図書】</b> None				
<b>【成績評価の方法】</b> Class Participation 30%, Review/Homework 30%, Presentation 20%, Tests 20%				

対面授業				13009
異文化理解と交流2B			D.J.マカントニー	
UK and Ireland Studies				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of the five countries that make up the British Isles. We will study both the historical and modern countries and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding. Lessons will contain some conversational practice. Homework and regular attendance are very important.				
<b>【授業内容】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction</li> <li>2. Wales 1</li> <li>3. Wales 2</li> <li>4. Wales 3</li> <li>5. England1</li> <li>6. England 2</li> <li>7. England 3</li> <li>8. Mid-Term</li> <li>9. Scotland 1</li> <li>10. Scotland 2</li> <li>11. Scotland 3</li> <li>12. Ireland 1</li> <li>13. Ireland 2</li> <li>14. Northern Ireland</li> <li>15. Review</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> Scott Berlin, Chisako Nakayama, Discover Great Britain and Ireland, Kinseido, 978-47647-3864-5				
<b>【参考図書】</b> English Dictionary and Japanese-English Dictionary				
<b>【成績評価の方法】</b> Class Participation 20% Review/Quiz/Homework 30% Written Tests 50%				

対面授業				13010
イギリス文化研究 1			雨森 未来	
British Cultural Studies 1				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          本科目は「専門教育科目」に属し、カリキュラム・ポリシーの「英語関連領域の専門教育科目」に位置付けられる。本科目では、ディプロマ・ポリシーに準じ、英米文化及び英米文学を扱うことを通して、「各言語圏の社会・文化・思想・価値観の差異」を学ぶとともに、「英語の諸分野についての専門的・学際的研究を遂行する」ためへの土台を構築する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>受講生はテキストや文献を通して、イギリスの文化及び文学の専門的な知識に触れる。具体的には、エリザベス朝を中心とするルネサンス期の英国の歴史や文化について、作品ではウィリアム・シェイクスピアの劇作品や近代及び現代の韻文作品について解説する。後半では、批評理論の基礎的な知識と体系を紹介し、論理的観点に基づく文学作品の批評について理解する機会を作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス：イングランドとセント・ジョージ</li> <li>2. ルネサンス① 芸術と表象</li> <li>3. ルネサンス② 視覚の理論と美術の様式</li> <li>4. 英国ルネサンス イングランドの演劇世界 シェイクスピアのグローブ座</li> <li>5. イングランドの劇場文化 シンボル（象徴）とアレゴリー（寓意）</li> <li>6. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界① 劇場文化と出版の歴史</li> <li>7. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界② シェイクスピア劇のジャンル</li> <li>8. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界① 悲劇の伝統と『オイディプス王』</li> <li>9. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界② 『ハムレット』と「メメント・モリ」</li> <li>10. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界① 少年俳優と異性装</li> <li>11. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界② 『ヴェニスの商人』と批評の変遷</li> <li>12. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界③ 『夏の夜の夢』とフェミニズム批評</li> <li>13. ウィリアム・シェイクスピアの歴史劇 『リチャード三世』と悪役の系譜</li> <li>14. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇① 文学理論：ポストコロニアリズム</li> <li>15. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇② 『テンペスト』とポストコロニアリズム批評</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          なし。適宜、プリントや資料を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          適宜、指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業内課題あるいはコメント・ペーパーの提出を毎講義の内容に合わせて課す(75%)          課題の出来栄えに対する加点及び平常点(25%)          以上から総合的に評価する。          提出課題や発表にはコメントをつけてフィードバックする。</p>				

対面授業				13011
イギリス文化研究2			渡辺 浩	
British Cultural Studies 2				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> このコースにおいては、英国の著名な建物・建築物を取り上げ、その歴史に基づいて英国文化と歴史を考察してゆきます。「ランドマーク」という言葉が最近日本語の中でも使われますが、まさしく陸標、目標物は歴史の中でも文化的な指標となるものが数多く存在します。				
<b>【授業内容】</b> 1 Introduction 2 Stonehenge 3 Hadrian's Wa 4 Caernarfon Castle 5 Canterbury Cathedral 6 Tudor Houses 7 Country Houses 8 Derwent Valley Mills 9 Terraced Houses 10 Manchester Town Hall 11 The Fouth Bridge 12 Brighton Pier 13 Liverpool Docks 14 The South Bank 15 The Channel Tunnel				
<b>【テキスト】</b> ブリティッシュ・ビルディングス、英宝社（2000円＋税） ISBN 978-4-269-15019-5				
<b>【参考図書】</b> 参考資料・図書はその都度指示する予定。				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業中に実施するテストと評価に関連した提出物 70%、毎回の授業に関する取り組みと習熟度 30%				

対面授業				13012																
イギリス文化研究 3			原田 昂																	
British Cultural Studies 3																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 主に 19 世紀英国で書かれた文学作品を一部抜粋して鑑賞し、産業革命が英国の社会や文化に与えた影響を理解することを目的とする。特に、現代英語の語彙や、現代社会が抱える問題との関係性に注目する。																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション: 産業革命</td> <td>9. 科学と産業②</td> </tr> <tr> <td>2. 都市化①</td> <td>10. ナショナルトラスト</td> </tr> <tr> <td>3. 都市化②</td> <td>11. 植民地①</td> </tr> <tr> <td>4. 階級①</td> <td>12. 植民地②</td> </tr> <tr> <td>5. 階級②</td> <td>13. 作品鑑賞、意見交換①</td> </tr> <tr> <td>6. 教育①</td> <td>14. 作品鑑賞、意見交換②</td> </tr> <tr> <td>7. 教育②</td> <td>15. 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 科学と産業①</td> <td></td> </tr> </table>					1. イントロダクション: 産業革命	9. 科学と産業②	2. 都市化①	10. ナショナルトラスト	3. 都市化②	11. 植民地①	4. 階級①	12. 植民地②	5. 階級②	13. 作品鑑賞、意見交換①	6. 教育①	14. 作品鑑賞、意見交換②	7. 教育②	15. 授業のまとめ	8. 科学と産業①	
1. イントロダクション: 産業革命	9. 科学と産業②																			
2. 都市化①	10. ナショナルトラスト																			
3. 都市化②	11. 植民地①																			
4. 階級①	12. 植民地②																			
5. 階級②	13. 作品鑑賞、意見交換①																			
6. 教育①	14. 作品鑑賞、意見交換②																			
7. 教育②	15. 授業のまとめ																			
8. 科学と産業①																				
<b>【テキスト】</b> 必要に応じて適宜プリントを配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。																				
<b>【成績評価の方法】</b> レポート(50%)、課題提出(30%)、授業への積極的な参加(20%)。 レポートは、与えられた課題に適切に答えられているかを中心に評価する。 課題は、取り組みと毎回の提出を中心に評価する。 授業への積極的な参加は、毎回授業中に設ける意見交換の時間での発言を中心に評価する。																				

対面授業			13013																	
アメリカ文化研究1			苫米地 夏緒																	
American Studies 1																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ文化について学ぶのであれば、人種は避けて通れない。しかし、そこで度々明らかになるのは、アメリカの多様性ではなく、人種差別は尚もアメリカ社会に残っている、という事実である。  それはアメリカの大衆文化について学ぶときも同様である。それどころか、その中で生産・消費されている大衆文化は大勢が日々触れるものだからこそ、人種差別のような社会的不平等の持続の中心的な存在である、と言える。  よって、本講義では大衆文化に表れる、アメリカの「理想の」人物像とはどのようなもので、誰が達成可能なのか？そこから外れた人々はどのように描かれるのか？などと問いかけながら、大衆文化を真摯に受け止め、そこに込められた人種に関連するメッセージを探っていく。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>  この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. Blackness in U.S. Popular Culture II</td> </tr> <tr> <td>2. Introducing Popular Culture Studies</td> <td>10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I</td> </tr> <tr> <td>3. What is Racism?</td> <td>11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II</td> </tr> <tr> <td>4. The History of Race in the U.S.: Part I</td> <td>12. Preparation for Workshop</td> </tr> <tr> <td>5. The History of Race in the U.S.: Part II</td> <td>13. Workshop I</td> </tr> <tr> <td>6. Whiteness, or: The Raceless Race</td> <td>14. Workshop II</td> </tr> <tr> <td>7. Dismantling White Privilege</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. Blackness in U.S. Popular Culture I</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. Blackness in U.S. Popular Culture II	2. Introducing Popular Culture Studies	10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I	3. What is Racism?	11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II	4. The History of Race in the U.S.: Part I	12. Preparation for Workshop	5. The History of Race in the U.S.: Part II	13. Workshop I	6. Whiteness, or: The Raceless Race	14. Workshop II	7. Dismantling White Privilege	15. Conclusion	8. Blackness in U.S. Popular Culture I	
1. Introduction	9. Blackness in U.S. Popular Culture II																			
2. Introducing Popular Culture Studies	10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I																			
3. What is Racism?	11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II																			
4. The History of Race in the U.S.: Part I	12. Preparation for Workshop																			
5. The History of Race in the U.S.: Part II	13. Workshop I																			
6. Whiteness, or: The Raceless Race	14. Workshop II																			
7. Dismantling White Privilege	15. Conclusion																			
8. Blackness in U.S. Popular Culture I																				
<p><b>【テキスト】</b>  各回に応じたメディアやテキストを配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760  Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、グループワーク: 30%、期末テスト: 40%  Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する。</p>																				

対面授業			13014																	
アメリカ文化研究2			苫米地 夏緒																	
American Studies 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ文化について学ぶのであれば、人種は避けて通れない。しかし、そこで度々明らかになるのは、アメリカの多様性ではなく、人種差別は尚もアメリカ社会に残っている、という事実である。  それはアメリカの大衆文化について学ぶときも同様である。それどころか、その中で生産・消費されている大衆文化は大勢が日々触れるものだからこそ、人種差別のような社会的不平等の持続の中心的な存在である、と言える。  よって、本講義では大衆文化に表れる、アメリカの「理想の」人物像とはどのようなもので、誰が達成可能なのか？そこから外れた人々はどのように描かれるのか？などと問いかけながら、大衆文化を真摯に受け止め、そこに込められた人種に関連するメッセージを探っていく。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>  この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. Challenges Against Racism I</td> </tr> <tr> <td>2. Americanness and Otherness</td> <td>10. Challenges Against Racism II</td> </tr> <tr> <td>3. Is Islamophobia Racism?</td> <td>11. Case Study</td> </tr> <tr> <td>4. Latinx? Hispanic?</td> <td>12. Preparation for Workshop</td> </tr> <tr> <td>5. The Struggles of Native Americans</td> <td>13. Workshop I</td> </tr> <tr> <td>6. Intersectionality</td> <td>14. Workshop II</td> </tr> <tr> <td>7. Colorblind Racism</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. Cultural Appropriation</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. Challenges Against Racism I	2. Americanness and Otherness	10. Challenges Against Racism II	3. Is Islamophobia Racism?	11. Case Study	4. Latinx? Hispanic?	12. Preparation for Workshop	5. The Struggles of Native Americans	13. Workshop I	6. Intersectionality	14. Workshop II	7. Colorblind Racism	15. Conclusion	8. Cultural Appropriation	
1. Introduction	9. Challenges Against Racism I																			
2. Americanness and Otherness	10. Challenges Against Racism II																			
3. Is Islamophobia Racism?	11. Case Study																			
4. Latinx? Hispanic?	12. Preparation for Workshop																			
5. The Struggles of Native Americans	13. Workshop I																			
6. Intersectionality	14. Workshop II																			
7. Colorblind Racism	15. Conclusion																			
8. Cultural Appropriation																				
<p><b>【テキスト】</b>  WebClass にて各回に応じたメディアやテキストを配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760  Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、グループワーク: 30%、期末テスト: 40%  Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する。</p>																				



対面授業				13015																
アメリカ文化研究 3			和栗 了																	
American Studies 3																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ合衆国の文学を代表するマーク・トウェイン(Mark Twain)の、人とその作品について講義します。アメリカとは何か、文学とは何かを、トウェインの作品と作家の研究を通じて明らかにします。かつて『トム・ソーヤーの冒険』や『ハックルベリー・フィンの冒険』を読んで合衆国に憧れた方には驚かれるような内容かもしれませんが、真実のトウェインと彼の作品が意味するものをお伝えします。受講生はマーク・トウェインをひとつの手がかりにしてアメリカ合衆国を理解してください。それが目的です。扱う作品は変更することがあります。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 導入・短編演習その1:「よい子」と「わるい子」について The Story of the Bad Little Boy The Story of the Good Little Boy</td> <td>9. 短編演習その9: アダムさん、困りますよ! Adam's Diary Eve's Diary</td> </tr> <tr> <td>2. 短編演習その2: 結婚相手の条件について Aurelia's Unfortunate Young Man Lucretia Smith's Soldier</td> <td>10. 短編演習その10: 人間って何なんですか? The Facts Concerning The Recent Carnival Of Crime In Connecticut What Is Man?</td> </tr> <tr> <td>3. 短編演習その3: 「世の中カネ」ですか? The £1,000,000 Bank Note The \$30,000 Bequest</td> <td>11. 長編作品演習その1: 『トム・ソーヤーの冒険』は「児童虐待」?</td> </tr> <tr> <td>4. 短編演習その4: 「わたる世間は鬼ばかり」ですよ? The Man That Corrupted Hadleyburg The Invalid's Story</td> <td>12. 長編作品演習その2: 『トム・ソーヤーの冒険』のインジャン・ジョーは悪人じゃない!</td> </tr> <tr> <td>5. 短編演習その5: 女性も「——」ですよ? 1601: Conversation, as it was by the Social Fireside, in the Time of the Tudors</td> <td>13. 長編作品演習その3: 『ハックルベリー・フィンの冒険』でハックは何を語ったの?</td> </tr> <tr> <td>6. 短編演習その6: 人間と動物のあいだには何かある? A Dog's Tale A Horse's Tale</td> <td>14. 長編作品演習その4: 『44号、見知らぬ不思議な人』はキリスト教徒の信仰告白?</td> </tr> <tr> <td>7. 短編演習その7: 人間は残虐ですね! "A Bloody Massacre Near Carson"</td> <td>15. 学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8. 短編演習その8: 人種って何なのですか? A True Story Niagara</td> <td></td> </tr> </table>					1. 導入・短編演習その1:「よい子」と「わるい子」について The Story of the Bad Little Boy The Story of the Good Little Boy	9. 短編演習その9: アダムさん、困りますよ! Adam's Diary Eve's Diary	2. 短編演習その2: 結婚相手の条件について Aurelia's Unfortunate Young Man Lucretia Smith's Soldier	10. 短編演習その10: 人間って何なんですか? The Facts Concerning The Recent Carnival Of Crime In Connecticut What Is Man?	3. 短編演習その3: 「世の中カネ」ですか? The £1,000,000 Bank Note The \$30,000 Bequest	11. 長編作品演習その1: 『トム・ソーヤーの冒険』は「児童虐待」?	4. 短編演習その4: 「わたる世間は鬼ばかり」ですよ? The Man That Corrupted Hadleyburg The Invalid's Story	12. 長編作品演習その2: 『トム・ソーヤーの冒険』のインジャン・ジョーは悪人じゃない!	5. 短編演習その5: 女性も「——」ですよ? 1601: Conversation, as it was by the Social Fireside, in the Time of the Tudors	13. 長編作品演習その3: 『ハックルベリー・フィンの冒険』でハックは何を語ったの?	6. 短編演習その6: 人間と動物のあいだには何かある? A Dog's Tale A Horse's Tale	14. 長編作品演習その4: 『44号、見知らぬ不思議な人』はキリスト教徒の信仰告白?	7. 短編演習その7: 人間は残虐ですね! "A Bloody Massacre Near Carson"	15. 学生との議論	8. 短編演習その8: 人種って何なのですか? A True Story Niagara	
1. 導入・短編演習その1:「よい子」と「わるい子」について The Story of the Bad Little Boy The Story of the Good Little Boy	9. 短編演習その9: アダムさん、困りますよ! Adam's Diary Eve's Diary																			
2. 短編演習その2: 結婚相手の条件について Aurelia's Unfortunate Young Man Lucretia Smith's Soldier	10. 短編演習その10: 人間って何なんですか? The Facts Concerning The Recent Carnival Of Crime In Connecticut What Is Man?																			
3. 短編演習その3: 「世の中カネ」ですか? The £1,000,000 Bank Note The \$30,000 Bequest	11. 長編作品演習その1: 『トム・ソーヤーの冒険』は「児童虐待」?																			
4. 短編演習その4: 「わたる世間は鬼ばかり」ですよ? The Man That Corrupted Hadleyburg The Invalid's Story	12. 長編作品演習その2: 『トム・ソーヤーの冒険』のインジャン・ジョーは悪人じゃない!																			
5. 短編演習その5: 女性も「——」ですよ? 1601: Conversation, as it was by the Social Fireside, in the Time of the Tudors	13. 長編作品演習その3: 『ハックルベリー・フィンの冒険』でハックは何を語ったの?																			
6. 短編演習その6: 人間と動物のあいだには何かある? A Dog's Tale A Horse's Tale	14. 長編作品演習その4: 『44号、見知らぬ不思議な人』はキリスト教徒の信仰告白?																			
7. 短編演習その7: 人間は残虐ですね! "A Bloody Massacre Near Carson"	15. 学生との議論																			
8. 短編演習その8: 人種って何なのですか? A True Story Niagara																				
<p><b>【テキスト】</b> 自作プリントを使います。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>Waguri Ryo, <i>Mark Twain and Strangers</i>, Tokyo: Eihou-sha, 2004.  和栗 了監訳、『マーク・トウェイン 完全なる自伝』(第一巻、第二巻、第三巻)(東京: 柏書房、2012年、2015年、2018年)。  和栗 了、『マーク・トウェインはこう読め』(東京: 柏書房、2016年)。  和栗 了訳、『マーク・トウェイン書簡集 第一巻』(大阪: 大阪教育図書、2011年)。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の小テスト(50パーセント) + 毎回の小レポート(20パーセント) + 毎回の宿題(30パーセント)。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																				

対面授業			13016																
日本史講義 1A		鈴木 琢郎																	
History of Japan 1A (Medieval Japan)																			
3～4年次	2単位	後期	1コマ																
<b>【授業の目的】</b> 平安時代の摂関制成立史について学ぶ。摂関制研究の研究史上の問題点を明確にし、特に摂政の成立を如何に考えるかについて検討していく。																			
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1 授業の概要説明</td> <td>9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)</td> </tr> <tr> <td>2 摂関制の研究史(戦前期)①</td> <td>10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①</td> </tr> <tr> <td>3 摂関制の研究史(戦前期)②</td> <td>11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②</td> </tr> <tr> <td>4 政所政治論批判(政所下文)①</td> <td>12 藤原良房による天皇権代行</td> </tr> <tr> <td>5 政所政治論批判(政所下文)②</td> <td>13 摂政の成立を如何に考えるか</td> </tr> <tr> <td>6 政所政治論批判(里内裏)①</td> <td>14 幼帝陽成と藤原基経</td> </tr> <tr> <td>7 政所政治論批判(里内裏)②</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 試験答案の書き方</td> <td></td> </tr> </table>				1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)	2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①	3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②	4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行	5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか	6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経	7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ	8 試験答案の書き方	
1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)																		
2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①																		
3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②																		
4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行																		
5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか																		
6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経																		
7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ																		
8 試験答案の書き方																			
<b>【テキスト】</b> 特に定めず、毎回プリントを配布する。																			
<b>【参考図書】</b> 米田雄介『歴史文化ライブラリー 藤原摂関家の誕生』(吉川弘文館、2002年) 神谷正昌『人物叢書 清和天皇』(吉川弘文館、2020年)																			
<b>【成績評価の方法】</b> 学期末の論述試験で評価する。																			

対面授業				13017																
日本史講義 2C			苅米 一志																	
History of Japan 2C (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 日本中世の政治・社会の移り変わりについて、研究の基本的な用語・知識・概念を身につけることを目的とする。近年の主要な研究テーマや専門用語を解説する。																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1 日本中世という時代</td> <td>9 鎌倉・室町の民衆生活②</td> </tr> <tr> <td>2 東アジア世界の中で</td> <td>10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱</td> </tr> <tr> <td>3 治承・寿永の内乱</td> <td>11 室町幕府と足利氏</td> </tr> <tr> <td>4 武家政権の本格的展開</td> <td>12 守護大名の台頭</td> </tr> <tr> <td>5 権門体制論について</td> <td>13 室町時代の文化</td> </tr> <tr> <td>6 荘園制の形成と展開</td> <td>14 戦国大名の登場</td> </tr> <tr> <td>7 顕密体制論について</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 鎌倉・室町の民衆生活①</td> <td></td> </tr> </table>					1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②	2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱	3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏	4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭	5 権門体制論について	13 室町時代の文化	6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場	7 顕密体制論について	15 授業のまとめ	8 鎌倉・室町の民衆生活①	
1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②																			
2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱																			
3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏																			
4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭																			
5 権門体制論について	13 室町時代の文化																			
6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場																			
7 顕密体制論について	15 授業のまとめ																			
8 鎌倉・室町の民衆生活①																				
<b>【テキスト】</b> 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 朝尾直弘・他編 『岩波講座 日本通史』7～10(1994年)																				
<b>【成績評価の方法】</b> 主として学期末のレポート(4000～8000字程度)で評価する。																				

対面授業			13018
日本史講義 3C		三田 智子	
History of Japan 3C (Medieval Japan)			
3～4年次	2 単位	後期	1 コマ
<p><b>【授業の目的】</b>          ここ 30 年ほどのあいだに、日本近世における「身分」の捉え方は大きく変化し、それは社会全体の問い直しにつながっている。その論理的な部分について概観したあと、各分野における実証の成果について史料をふまえながら説明をおこなう。</p>			
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 山川の日本史教科書の記述変化について</li> <li>2 「身分」をめぐる二つの見方とその統一</li> <li>3 「社会集団」と身分制社会</li> <li>4 村請制とは何か</li> <li>5 和泉のかわた(えた)村について① —南王子村の村方騒動—</li> <li>6 和泉のかわた(えた)村について② —南王子村のイエ—</li> <li>7 和泉のかわた(えた)村について③ —南王子村のイエ—</li> <li>8 和泉のかわた(えた)村について④ —南王子村の生業—</li> <li>9 和泉のかわた(えた)村について⑤ —南王子村の 19 世紀—</li> <li>10 和泉のかわた(えた)村について⑥ —南王子村の 19 世紀—</li> <li>11 和泉のかわた(えた)村について⑦ —地域社会と南王子村—</li> <li>12 和泉のかわた(えた)村について⑧ —地域社会と南王子村—</li> <li>13 和泉のかわた(えた)村について⑨ —地域社会と南王子村—</li> <li>14 和泉のかわた(えた)村について⑩ —地域社会と南王子村—</li> <li>15 和泉のかわた(えた)村について⑪ —賤称廃止令と地域社会—</li> </ol>			
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>毎回プリントを配布する。</p>			
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>塚田孝『近世身分社会の捉え方—山川出版社日本史教科書を通して—』(部落問題研究所、2010) ISBN9787-4-8298-1077-4</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>受講態度 45%、レポート 55%で評価する。          受講態度については、毎回記入するリアクションペーパーの内容をもとに、授業内容を理解しているかどうかを評価する。レポートについては、史料を基礎に論理を構成するという実証方法の基礎ができているか、適切な表現がとられているか、などを主な評価基準とする。</p>			

対面授業			13019																
ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C		小林 亜沙美																	
History of Europe/America3C (Medieval Europe)																			
3～4年次	2単位	後期	1コマ																
<p><b>【授業の目的】</b>  中世ヨーロッパの諸王国は世襲制が多かったが、神聖ローマ帝国は基本的に選挙王国であった。しかしこの「選挙」は今日の日本で行われている「選挙」とは全く異なる。国王選挙について時系列的に扱い、そこから神聖ローマ帝国における国王（皇帝）と帝国諸侯の関係性の変化、領邦国家への発展経緯を通覧する。</p>																			
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 「神聖ローマ帝国」とは？</td> <td>9 大空位時代の国王選挙：ウィリアム、リチャード、アルフォンソ</td> </tr> <tr> <td>2 国王擁立の政治思想</td> <td>10 ハプスブルク家初代・2代目の王：ルドルフ、アルブレヒト</td> </tr> <tr> <td>3 国王擁立の背景と実態：オットー大帝</td> <td>11 62年ぶりの皇帝：ハインリヒ7世</td> </tr> <tr> <td>4 二人の国王：ハインリヒ4世と対立国王ルドルフ・フォン・シュヴァーベン</td> <td>12 1314年の二重選挙：ルードヴィヒ4世、フリードリヒ</td> </tr> <tr> <td>5 対立国王から正規国王へ：コンラート3世</td> <td>13 国王選挙の法的定期：金印勅書</td> </tr> <tr> <td>6 ローマ教皇庁の立場</td> <td>14 金印勅書後の国王たち</td> </tr> <tr> <td>7 選挙制から相続制への試み：ハインリヒ6世の計画</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 1198年の二重選挙：オットー4世、フィリップ</td> <td></td> </tr> </table>				1 「神聖ローマ帝国」とは？	9 大空位時代の国王選挙：ウィリアム、リチャード、アルフォンソ	2 国王擁立の政治思想	10 ハプスブルク家初代・2代目の王：ルドルフ、アルブレヒト	3 国王擁立の背景と実態：オットー大帝	11 62年ぶりの皇帝：ハインリヒ7世	4 二人の国王：ハインリヒ4世と対立国王ルドルフ・フォン・シュヴァーベン	12 1314年の二重選挙：ルードヴィヒ4世、フリードリヒ	5 対立国王から正規国王へ：コンラート3世	13 国王選挙の法的定期：金印勅書	6 ローマ教皇庁の立場	14 金印勅書後の国王たち	7 選挙制から相続制への試み：ハインリヒ6世の計画	15 授業のまとめ	8 1198年の二重選挙：オットー4世、フィリップ	
1 「神聖ローマ帝国」とは？	9 大空位時代の国王選挙：ウィリアム、リチャード、アルフォンソ																		
2 国王擁立の政治思想	10 ハプスブルク家初代・2代目の王：ルドルフ、アルブレヒト																		
3 国王擁立の背景と実態：オットー大帝	11 62年ぶりの皇帝：ハインリヒ7世																		
4 二人の国王：ハインリヒ4世と対立国王ルドルフ・フォン・シュヴァーベン	12 1314年の二重選挙：ルードヴィヒ4世、フリードリヒ																		
5 対立国王から正規国王へ：コンラート3世	13 国王選挙の法的定期：金印勅書																		
6 ローマ教皇庁の立場	14 金印勅書後の国王たち																		
7 選挙制から相続制への試み：ハインリヒ6世の計画	15 授業のまとめ																		
8 1198年の二重選挙：オットー4世、フィリップ																			
<p><b>【テキスト】</b>  授業で配布する。</p>																			
<p><b>【参考図書】</b>  菊地良生『神聖ローマ帝国（講談社現代新書）』（講談社、2003年、ISBN 978-4061496736）  ハンス・K.シュルツェ（小倉欣一、河野淳訳）『西欧中世史事典Ⅲ 王権とその支配（MINERVA 西洋史ライブラリー96）』（ミネルヴァ書房、2013年、ISBN 978-4623067428）  池谷文夫『神聖ローマ帝国 ドイツ王が支配した帝国（世界史の鏡 国家7）』（刀水書房、2019年、ISBN 978-4887085121）</p>																			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  各授業の小テスト(50%)、期末レポート(50%)。</p>																			

対面授業				13020
ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A			山本 航平	
European and American History 2A (Cultural History of Europe and the Americas)				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業は、16世紀以降の「西洋」(本授業ではヨーロッパと南北アメリカを指す)の歴史を文化史の視点から検討する。本授業は特定の国・地域の通史あるいは概説ではなく、「新しい文化史」とよばれる歴史学の研究動向において注目を集めてきたトピック(環大西洋史、読書、感性、スポーツ、記憶など)に着目し、テーマに沿った議論を展開する。さまざまな歴史事象やそれらに関して蓄積されてきた研究を紹介することで、受講生が各自の知的関心を発展させる機会を提供したい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス:文化史の視点から読み解く「西洋」の歴史</li> <li>2 近世ヨーロッパにおける言語・知識・社会</li> <li>3 大西洋を往来する海賊</li> <li>4 大西洋を往来する奴隷船</li> <li>5 環大西洋革命(1):アメリカ独立革命</li> <li>6 環大西洋革命(2):フランス革命</li> <li>7 人権思想の萌芽:大西洋世界における小説と共感</li> <li>8 国民国家とナショナリズム:想像/創造される「国民」</li> <li>9 感性の歴史(1):におい=嗅覚</li> <li>10 感性の歴史(2):音=聴覚</li> <li>11 感性の歴史(3):味=味覚</li> <li>12 アメリカ合衆国における移民とホワイトネス</li> <li>13 スポーツの歴史(1):キューバの野球とナショナリズム</li> <li>14 スポーツの歴史(2):イタリアのサッカーと「南部問題」</li> <li>15 記念碑が語る歴史:記憶の歴史学</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  指定しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  必要に応じて授業中に紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の授業の最後に実施する小レポート(40%)と期末レポート(60%)で評価する。小レポート用紙は各授業の開始時に配布する。小レポートのフィードバックは翌週の授業の冒頭で5分程度おこなう。小レポートと期末レポートは、担当教員の出題する問いに対して授業あるいは研究書の内容をふまえた解答ができていないか、学術的かつ論理的な文章が書けているかを評価の基準とする。</p>				

対面授業				13021																
アジア史講義1A			渡邊 将智																	
History of Asia 1A																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  中国の歴代王朝は、前代の王朝や自分の王朝の歴史を記録し続けてきた。中国史学の特色とその発展の過程を学ぶことは、過去の歴史に向き合うための視点を広げるとともに、現代の社会を読み解くために必要な目を養うことにつながる。この授業では、前近代中国における史書編纂の過程と歴史叙述の特色を、思想的・文化的・政治的な背景に目を向けつつ概観する。さらに、同時期における歴史研究や史学理論の発展の過程についても学ぶ。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前近代中国の史学とその評価</td> <td>9. 『史通』の史学理論と史料批判</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家</td> <td>10. 『資治通鑑』と編年体の再生</td> </tr> <tr> <td>3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出</td> <td>11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判</td> </tr> <tr> <td>4. 『史記』の対秦評価と同時代批判</td> <td>12. 地方志の隆盛と方志学</td> </tr> <tr> <td>5. 断代史の創出と『漢書』</td> <td>13. 清朝考証学の世界</td> </tr> <tr> <td>6. 三国鼎立と『三国志』の正統観</td> <td>14. 『文史通義』の史学理論</td> </tr> <tr> <td>7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述</td> <td>15. 総括</td> </tr> <tr> <td>8. 家学と注釈学</td> <td></td> </tr> </table>					1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判	2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の再生	3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判	4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学	5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界	6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論	7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括	8. 家学と注釈学	
1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判																			
2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の再生																			
3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判																			
4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学																			
5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界																			
6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論																			
7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括																			
8. 家学と注釈学																				
<p><b>【テキスト】</b>  指定しない。毎回資料を配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に参考文献を紹介する。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レビューシート 40% (授業中)、レポート 60% (学期末)  レビューシートは、講義内容に対する理解の度合いと、講義で得た知識に基づき自分自身の視点で考察できているかを評価する。また、レポートは、講義内容に対する理解度と考察力に加えて、書籍・論文などの参考文献を調査し、それらを活用して分析・考察する力を具えているかどうかを評価する。  レビューシートを回収後、教員は次回の授業中に補足説明を行う。</p>																				

対面授業				13022
アジア史講義 2A			井上 あえか	
History of Asia 2A				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 国際関係の中で戦争と地域紛争を歴史的に理解する視点を獲得し、戦争と平和を自分のことばで語れるようになること。				
<b>【授業内容】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アフガニスタンの復興と「ターリバーン化」問題</li> <li>2. ターリバーンの論理(ドキュメンタリー「密着ムジャーヒディーン」)</li> <li>3. アメリカの戦略とアフガニスタン</li> <li>4. 帰還兵から見た戦争(ドキュメンタリー)「アフガン帰還兵―若きソビエト兵士たちの9年間」</li> <li>5. 現代のイスラーム</li> <li>6. パキスタンの軍・政治・イスラーム</li> <li>7. 南アジアの民主主義</li> <li>8. インドの経済発展(1)</li> <li>9. インドの経済発展(2)</li> <li>10. 世界の核管理体制の歴史とインド・パキスタン対立</li> <li>11. インド・パキスタン対立と核問題(ドキュメンタリー「揺れる核保有国インド」)</li> <li>12. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(1)</li> <li>13. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(2)</li> <li>14. 平和学について</li> <li>15. 歴史と現在の関わり</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> とくに指定しない。				
<b>【参考図書】</b> 教室で、適宜指示する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 学期中に適宜コメント紙の提出を求め(40%)、学期末に課すレポート(60%)で評価する。				



対面授業				13023																
歴史遺産講義1C			賈 鐘壽																	
Lecture of the Cultural Heritage 1C																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 日本と朝鮮半島の歴史遺産を中心に取り上げ、両国の善隣友好史の実像を明らかにする。																				
<b>【授業内容】</b> <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1. 朝鮮半島と日本列島(海上の道)</td> <td style="width:50%;">9. 日韓の交流史(渤海)</td> </tr> <tr> <td>2. 日韓の交流史(縄文時代~弥生時代)</td> <td>10. 日韓の交流史(統一新羅)</td> </tr> <tr> <td>3. 日韓の交流史(稲作文化の伝来)</td> <td>11. 日韓の交流史(高麗)</td> </tr> <tr> <td>4. 日韓の交流史(古墳時代)</td> <td>12. 日韓の交流史(文禄慶長の役)</td> </tr> <tr> <td>5. 日韓の交流史(高句麗)</td> <td>13. 日韓の交流史(朝鮮通信使)</td> </tr> <tr> <td>6. 日韓の交流史(伽耶)</td> <td>14. 日韓の交流史(朝鮮通信使と牛窓)</td> </tr> <tr> <td>7. 日韓の交流史(百済)</td> <td>15. 日韓の交流史(朝鮮)</td> </tr> <tr> <td>8. 日韓の交流史(新羅)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 朝鮮半島と日本列島(海上の道)	9. 日韓の交流史(渤海)	2. 日韓の交流史(縄文時代~弥生時代)	10. 日韓の交流史(統一新羅)	3. 日韓の交流史(稲作文化の伝来)	11. 日韓の交流史(高麗)	4. 日韓の交流史(古墳時代)	12. 日韓の交流史(文禄慶長の役)	5. 日韓の交流史(高句麗)	13. 日韓の交流史(朝鮮通信使)	6. 日韓の交流史(伽耶)	14. 日韓の交流史(朝鮮通信使と牛窓)	7. 日韓の交流史(百済)	15. 日韓の交流史(朝鮮)	8. 日韓の交流史(新羅)	
1. 朝鮮半島と日本列島(海上の道)	9. 日韓の交流史(渤海)																			
2. 日韓の交流史(縄文時代~弥生時代)	10. 日韓の交流史(統一新羅)																			
3. 日韓の交流史(稲作文化の伝来)	11. 日韓の交流史(高麗)																			
4. 日韓の交流史(古墳時代)	12. 日韓の交流史(文禄慶長の役)																			
5. 日韓の交流史(高句麗)	13. 日韓の交流史(朝鮮通信使)																			
6. 日韓の交流史(伽耶)	14. 日韓の交流史(朝鮮通信使と牛窓)																			
7. 日韓の交流史(百済)	15. 日韓の交流史(朝鮮)																			
8. 日韓の交流史(新羅)																				
<b>【テキスト】</b> 授業中、適宜資料を配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 授業中適宜紹介する。																				
<b>【授業外学習】</b> 関連書籍を読み、予習・復習を徹底する。																				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

就実大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			

※出願の際には  
履修願に写真は  
貼らずに添付し  
て提出してくだ  
さい。

**写真  
貼付  
(4 cm × 3cm)**

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部	学科	年		
学生番号	学生番号				
	男・女	昭和・平成	年	月	日生
現住所	〒 _____ TEL ( _____ ) _____ メールアドレス _____ @ _____ ※kyoumu@shujitsu.ac.jp からのメールが受信できるように設定をお願いします。				

- \* 履修受付締切日：前期：3月31日(金)まで 後期：9月11日(月)まで
- \* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開 講 期	配 当 学 年	備 考	曜 日・時 限	履 修 希 望	評 価
<b>対面授業科目</b>										
※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13001	古典文学研究 1	専門	瓦井 裕子	2	前期	2~4		火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13002	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13003	古典文学研究 3	専門	竹内 洪介	2	後期	2~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13004	近現代文学講義 3	専門	坂 堅太	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13005	異文化理解と交流 1A	専門	L. ダンテ	2	前期	3~4		木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13006	異文化理解と交流 1B	専門	J. スコット	2	前期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13007	異文化理解と交流 1C	専門	和栗 了	2	前期	3~4		火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
<b>対面授業科目</b> ※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13008	異文化理解と交流 2A	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		金 13:10~14:40		
13009	異文化理解と交流 2B	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		木 9:10~10:40		
13010	イギリス文化研究 1	専門	雨森 未来	2	前期	3~4		木 13:10~14:40		
13011	イギリス文化研究 2	専門	渡辺 浩	2	後期	3~4		木 13:10~14:40		
13012	イギリス文化研究 3	専門	原田 昂	2	前期	3~4		火 13:10~14:40		
13013	アメリカ文化研究 1	専門	苫米地 夏緒	2	前期	3~4		火 10:50~12:20		
13014	アメリカ文化研究 2	専門	苫米地 夏緒	2	後期	3~4		火 10:50~12:20		
13015	アメリカ文化研究 3	専門	和栗 了	2	後期	3~4		火 9:10~10:40		
13016	日本史講義 1A	専門	鈴木 琢郎	2	後期	3~4		金 10:50~12:20		
13017	日本史講義 2C	専門	苅米 一志	2	前期	3~4		金 13:10~14:40		
13018	日本史講義 3C	専門	三田 智子	2	後期	3~4		木 10:50~12:20		
13019	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	専門	小林 亜沙美	2	後期	3~4		水 13:10~14:40		
13020	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A	専門	山本 航平	2	前期	3~4		月 13:10~14:40		
13021	アジア史講義 1A	専門	渡邊 将智	2	後期	3~4		木 13:10~14:40		
13022	アジア史講義 2A	専門	井上 あえか	2	前期	3~4		火 14:50~16:20		
13023	歴史遺産講義 1C	専門	賈 鐘壽	2	前期	3~4		水 10:50~12:20		

写真提出枚数 (※ 出願の際には、履修願に写真は貼らずに 添付して提出してください) ( カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する )	単位互換科目 履修願用	身分証明書用	学生原簿用	計
	1枚	0枚	0枚	1枚